

アベ「働き方改革」で 現状が変わるのか？

議事録も公表されないまま
報告書とりまとめでいいの？！

働き方改革実行計画をうけて4月から
労政審で労働条件分科会と同一労働
同一賃金部会が動き出した。長時間労働
の上限を検討する労働条件分科会は、
昨年未の「歴史的労使合意」（特例と
して、1か月一〇〇時間未満（休日労働
含む）と2〜6か月平均80時間（同）
等）を受けて「スピード感」を持って
審議すると、4月7日から5回の会議
で報告書を取りまとめ、建議とした。

同一労働同一賃金部会は4月28日か
ら6月9日まで6回開催し報告書を取
りまとめた。この報告は16日の職業安
定部会の確認を経て建議となるようだ。

2つの分科会と部会での論議を記載
した議事録は1つも公開されていない。
同一労働同一賃金部会など傍聴は2〜
30人と限られているのに、論議の経過
が一般に公表されないまま報告書とり
まとめとは乱暴に過ぎる。厚労省のHP
で確認すると労働条件分科会の4月7
日の議事録のみが6月6日に公表され
ているだけだ。

長時間労働は削減できるの？
過労死ゼロを実現し、ワーク・ライ
フ・バランスを改善し、女性や高齢者



5・24労働法制共謀罪集会へ多くの労組・市民が駆け付けた

が働きやすい社会に変えていくため長
時間労働の是正は喫緊の課題というの
に、過労死ラインの一〇〇時間や80時
間の上限規制では、そこまで働かせて
もいいという逆のメッセージにならな
いのだろうか？ また報告書では労基
法に基づく指針として「特例による労働
時間の延長をできる限り短くするよ
う努めなければならぬ旨規定する」と
いうが、実効を確保できるのだろうか



4,200人が結集した共謀罪廃案、安倍政権の
改憲暴走を止めよう！5・16大集会

ユニテッド航空は解雇を撤回しろ！ 解雇から一年、5・29決起集会

FAユニテッド分会員12名が201
6年5月末に解雇されてから一年とな
る5月29日、ユニテッド航空闘争・
解雇一周年決起集会が開催された。

ユニテッド航空は、旧ユニテッ
ド航空、旧コンチネンタル航空、旧コ
ンチネンタルミクロネシア航空の3社
が合併したが、2万5千人の乗務員の
中で、日本で採用され、日本の労働組
合に所属するFAユニテッド分会員だ
けを解雇した。この一年間、組合員は、
ユニテッド航空に対し、裁判や成田・
羽田空港での抗議行動、国交省・厚労
省への申し入れ、労働委員会への不当
労働行為救済申し立てなどを通し、不
当解雇撤回と一日も早くフライトアテ
ンダントとしての職場復帰する為の活
動を続けている。

か？ 私たちが求めるインターバル規
制も「労使で導入に向けた具体策の検
討」というに過ぎない。さらに過労死
認定基準の後退の懸念もぬぐえない。
欧米なみの7〜8割までの
格差是正はどこに！

同一労働同一賃金では「雇用形態に
かわらない公正な評価に基づいて待
遇が決定されるべき」、均等待遇規定
を有期契約労働者にも適用することが
望ましいとはされたが、当初政権がぶ
ち上げていた欧米並みに正規の7〜8
割の水準をめざすなど影も形もない。
格差の合理性の立証責任は使用者に持
たせず、「事業主に説明義務を課す」
に留まっている。

これで格差是正が進むとは思えない。



共謀罪廃案、安倍政権の改憲暴走を
止めよう！5・16大集会

「解雇から一年、5・29決起集会」
では、呼びかけ人、支援の皆さん、福
島みずほ参議院議員からの激励があり、
当該の経過報告・決意表明、弁護団か
らは今後の裁判方針の説明と、当該た
ちの元気が出る集会となった。



多くの女性が登場した日比谷メーデー

5月1日、日比谷メーデーは好天のもと日比谷野音内外に7千人の参加で行われた。



壇上には「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう」「労働法制の改悪反対！一日8時間労働制の破壊を許さない！」「福島を忘れない！原発の再稼働糾弾！辺野古新基地建設阻止！」「戦争法廃止！許すな共謀罪！憲法改悪を許さない！」のスピーカーが掲げられた。



が掲げられた。

司会は全水道東水労の直江利恵さんと郵政ユニオン・20条裁判当該の浅川喜義さんのコンビ。前半司会の直江さんの声がよく通る。



今年の特色は決意表明・訴えが全員女性だったことだ。「会計年度任用職員」問題を訴える練馬区図書館専門員労働組合の成田由佳里さん、



外国人労働者問題を訴える全統一労組の宮本セリナさん、共謀罪反



対を呼びかける5.3憲法集会実行委員会の

土井登美江さん、20条裁判の

不当判決に闘い決意を述べる東京東部労組メトロコマース支部に後呂

良子さんだ。韓国サン

ケン労組からの訴えと韓国の闘争の中では一般化されているユルトンも披露され、

日比谷メーデーらしい国際色にあふれたメーデーとなり、土橋コースと鍛冶橋コースの2手にわかれてデモが行われた。雷雨の前にどうやらデモも終了した。(y)



東京メトロの大株主の東京都への取組を呼びかけるメトロコマース支部の原告たち

JAL争議団

羽田空港宣伝行動

5月27日(土)、JAL争議団は、羽田第1ターミナルビル前の通路において日本航空に対して解雇争議解決の決断を求めて宣伝行動を行った。当日は争議団・支援者約130名でチラシ配布とスタンディングでアピールした。

「JAL不当解雇NO!」「JALは解決を決断せよ!」のプラカードや「違法行為の責任を取り、争議の解決を!」などの横断幕を掲げて通行する利用者やバス、タクシーなどの乗客にもアピールした。行動は1時間程度であったが、良く目立つ宣伝行動となった



全統一労組千葉市非常勤嘱託職員分会大会

私たち全統一千葉市非常勤嘱託職員分会は5月8日に第14回定期大会を行いました。

来賓の方々や全統一の他分会の皆さんからのメッセージに加え、全労協女性委員会の柚木さんからもメッセージをいただき、大いに励まされました。

昨年度は7年越しで要求してきた年休の時間単位取得がついに実現しました。

その喜びもつかの間、まもなく地方公務員法と地方自治法が改正され、私たちは「会計年度任用職員」となり、期末手当の可能性と引き換えに労働基本権と更新の期待権を奪われます。が、めげてはいられません!大会では皆でしっかりとこの問題を共有し、外部団体とも連携しながら3年後の施行に備え対策を考え講じていくことを確認しました。



(山室)